



殆ど幽霊部員と化しているので大きな声では言えないのですが、実は「詩吟」を少しやっています。

でも正直言うと、元々興味があったわけではないですし、あまり練習にも行けないので辞めようかなって思うこともままあるのですが、なかなか捨てがたいものがあるんです。

それは、元気なおじいちゃん、おばあちゃんの世界。(##^##)

50を過ぎた僕が若手のホープと呼ばれる世界なんです。

僕が元々いじちゃん子だったこともあるかもしれませんが、結構居心地がいいんですね。

ある詩吟の大会での和服姿のおばあちゃんの話。

普段腰が曲がっているのに、自分が吟じる番になって人前に立ったら、凜とされる。

それでいて、「少年老い易く〜、学なりがたし〜」なんて朗々と吟じられるんです。

もちろん多少無理されている所もあるのかもしれませんが、そこが少し可愛いらしくて、ちょっぴり可笑しくて、とにかく「粹」なんです。

「ばあちゃん、かっこいい！」と思わず心の中で叫んでいます。

なんだか、こっちが元気もらっているようでした。



少年老い易く〜
学成り難し〜

詩吟はもちろん武道ではないのですが、お花やお茶みたいに「吟道」なんていいです。

ちなみに一応僕は四段。「燈城」なんてそれらしい名前があったりします。(^^)

ちなみに僕が持っている「段」といえば、あと自転車と・・・お腹くらいです。あ、これ冗談(だん)ね。

詩吟の大会には挑戦することをやめない、元気で素敵なご年配の方がたくさんいらっしゃいます。

さて、さる6月21日、政府は経済財政運営の基本方針(骨太の方針)と成長戦略を閣議決定しました。

その中で、高齢者の就労促進は成長戦略と連動すると位置づけ、企業に対し**70歳までの就業機会の確保**を努力義務とする法改正を進めるとうたっています。

70歳といえば、**古代稀なり**と言われた「**古希**」です。

あくまで努力義務だけど、本人が希望すれば古希まで働かせてあげてくださいね、ということです。

本人の希望ありきなんで、決して「こき使う」というわけではありません。)^o^(

これからも少子高齢化がますます進み人口が減っていくであろう、わが国日本。

高齢者の就労の在り方を見直すことは、企業においても成長戦略になりうることだと思います。

実際、元気な高齢者は増えています。

以前、仕事で携わったことがある介護事業所には、ボクシングのリングがありました。

ボクシングの試合のドクターも務めるボクシング好きの理事長の趣味だとも聞きましたが、利用者の健康づくりとストレス発散を目的としたものだそうです。



先ごろ、公的年金に頼った生活設計では2千万円が不足すると指摘した、金融審議会の報告書が話題になりました。

2千万円貯めて老後を迎えるか、それとも元気で働けるうちは働いて老後を迎えるか。

さて、僕たちの、あしたはどっちだ!?